

授業科目 北・中央アジア文化研究特論	単位 2単位
授業担当者 佐々木 史郎	授業期間 前期
授業の題目と概要 「北アジア狩猟採集文化研究」 ロシア領のシベリア、極東地域に広がる大森林地帯（タイガ）に展開する狩猟採集活動を生態的側面と文化的側面の双方から分析する	
授業の内容と計画 授業構成全体を3つに分け、最初の5回でシベリア・極東ロシア地域の自然環境、民族分布、そして簡単な歴史の概説を行う。次の5回で、寒冷地の狩猟採集活動を生態的な側面から分析して体系化する。対象とする動植物の性質、活動の時期と場所、使用する用具類の使い分けなどの視点から分析を加える。最後の5回では、狩猟採集活動を取り巻く政治経済的状況とこの活動に関わる社会関係と精神文化について整理する。	
使用する参考書、参考論文等 佐藤宏之編『ロシア狩猟文化誌』慶友社1998年 大貫静夫・佐藤宏之編『ロシア極東の民族考古学—温帯森林猟漁民の居住と生業』六一書房2005年 池谷和信『山菜採りの社会誌—資源利用とテリトリー』東北大学出版会2003年 佐々木史郎編『開かれた系としての狩猟採集社会』国立民族学博物館調査報告34、国立民族学博物館2002年	
成績評価基準 講義終了後速やかにレポートを提出する。	
その他の留意事項	